

事業所名

smile upながお

支援プログラム

作成日

R6 年

4 月

1 日

事業所理念		子どもたちの最善の利益を大切に、一人ひとりの特性による強みや本人が持っている力を活かし、ともに未来を創る					
支援方針		子どもとその家族に寄り添い、将来を見据えた療育					
営業時間		12 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・時間に応じた行動の切り替え・健康状態の把握（小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細かな観察を行う）・生活のリズムを身につけられるよう支援					
	運動・感覚	・スポーツや遊びを通して運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。・ゲームやクイズを通して視覚や聴覚、触覚を刺激する					
	認知・行動	・ブロックなど立体の造形物を使った創作活動・SSTを利用した空間・時間、数等の概念形成の習得・ビジョントレーニングを活用して、感覚や認知機能の発達を促す					
	言語 コミュニケーション	・ゲームの中から自分の考えを発表したり、好きなことをプレゼンテーションする・体験学習等で具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す・指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるようにしていく					
	人間関係 社会性	・ごっこ遊びなどを通して人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するまた、人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを促す・一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を育てる・遊びをとおして集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるようにしていく					
家族支援		子育ての悩み等に対する相談、家庭内での養育等についてペアレント・トレーニング、また保護者の時間を保障するために、ケアを一時的に代行する支援を行う	移行支援		全ての児童が共に成長できるよう、可能な限り、地域の教育の支援を受けられるようにする。また子ども同士の仲間づくりを図ったり、学習支援や運動療育を通してスムーズに次の学年に移行できるようにする		
職員の資質の向上		子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した療育を行うために職員は、自己研鑽や内部研修（安全管理・感染対策・虐待防止・ハラスメント等）及び外部研修に参加し、キャリアアップを図る					
主な行事等		初詣・節分豆まき・お花見・夏祭り・ハロウィンパーティー・クリスマスパーティー・アスレチック・体育館・ポーリング・水遊び・芋ほり・動物園・社会見学・工場見学・体験学習・人権映画鑑賞・防災体験学習・防災訓練・野外活動センター・消防署見学・警察署見学・他事業所交流会					